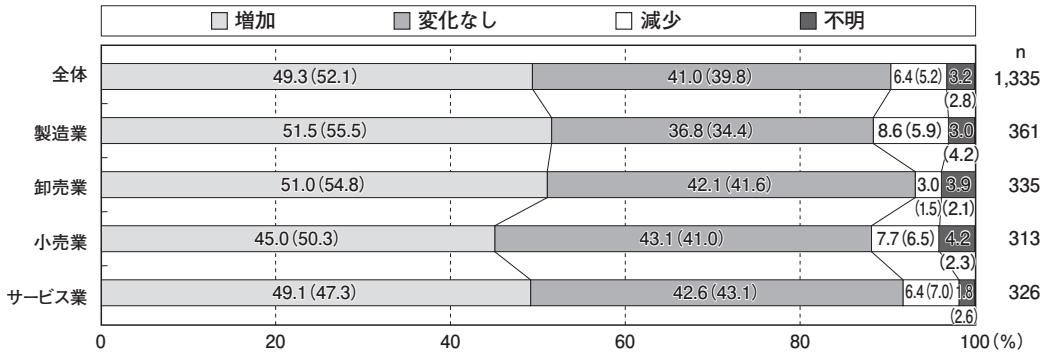


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2024年（令和6年）8月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が49.3%（前回調査 52.1%）と最も高く、「変化なし」が41.0%（同39.8%）、「減少」が6.4%（同5.2%）の順で続いた。

図表11 コストの変化（前年同月比）



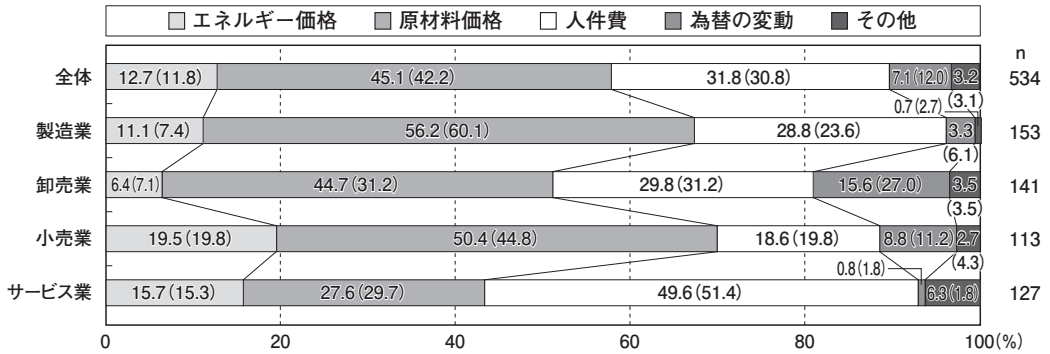
注）無回答を除き集計。（ ）内は前回調査（令和6年8月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が45.1%（前回調査 42.2%）と最も高く、「人件費」が31.8%（同30.8%）、「エネルギー価格」が12.7%（同11.8%）、「為替の変動」が7.1%（同12.0%）の順で続いた。

業種別にみると、製造業は「原材料価格」が56.2%（同60.1%）と最も高い。他の業種に比べて卸売業は「為替の変動」の15.6%（同27.0%）、小売業は「エネルギー価格」の19.5%（同19.8%）、サービス業は「人件費」の49.6%（同51.4%）がそれぞれ高い。

図表12 コスト増加の最大の要因



注）コストの変化（前年同月比）（図表11）で「増加」と回答した企業のうち無回答を除き集計。
（ ）内は前回調査（令和6年8月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。